

Contents /目/次/

行政情報

国際森林年記念シンポジウム

～森を歩いて感じよう！森林から始まる北海道の未来～

森林・林業再生元年 1
北海道森林管理局企画調整部企画課

特別企画

座談会

“創造都市さっぽろ”の実現に向けて 7
可児敏章／竹津宜男／武邑光裕／端 聡／石森秀三

寄稿

北海道らしい「食育」への期待 19
荒川 義人

視点論点

人材が支える北海道観光 24
～産学共同から見てきた、観光の6次産業化への転換～
中山 英朗

エッセイ

..... 26
会話はキャッチボール 第4回
着せ綿
河原多恵子

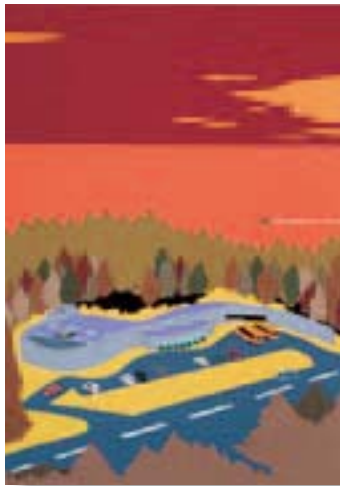
レポート

北海道近代史研究の課題 28
内藤 隆夫

information 告知板

「わが村は美しく—北海道」ネットワーク・フォーラム 33
第25回寒地土木研究所講演会 34
賃貸住宅管理業者登録制度説明会開催のご案内 35
建設産業の再生と発展のための取組のご案内 36
出版物販売のご案内 38
出版記念フォーラム 39
平成24年度研究助成募集のご案内 40
平成24年度地域活性化活動助成募集のご案内 41
平成23年度建設事業専門研修会開催のご案内 42
平成23年度施工管理技術検定試験日程のご案内 43

開発DIARY 44



今月の表紙

国内唯一の国宝のある道の駅
「縄文ロマン南かやべ」オープン!

豊かな海と山に囲まれた函館市南茅部エリアは、縄文時代早期から晩期にかけて約7千年もの間、縄文文化が栄えた土地です。ここで発掘された遺跡群は非常に大型で、深く掘り込んだ竪穴住居群が特徴です。去る10月1日にオープンした国道278号バイパスに隣接する道の駅「縄文ロマン南かやべ」は、北海道唯一の国宝「中空土偶」をはじめとする地域の貴重な縄文文化遺産約1200点を展示公開する「縄文文化交流センター」を併設し、学習室では土器や石器、装飾品づくりなども体験できるユニークな施設になっています。JR函館駅から約40km、車での所要時間は約60分。お問い合わせは函館市縄文文化交流センター0138-25-2030まで。

きり絵作家プロフィール

みとま まゆこ

東京都出身。94年に札幌へ移り住む。切り絵のほかにもさまざまな作品を手がけている。97年には切り絵作家「三苫 麻由子」として個展を開催。さらに江差町、留萌市など道内各地で交流を深める作品を発表。03年、京都で個展を開催。